



学校だより

練馬区立光が丘第一中学校
平成 27 年 9 月 30 日発行

<http://www.hikarigaoka1-j.nerima-tky.ed.jp/>

「命のビザ」

校長 境 田 聡

ユネスコ（国連教育科学文化機関）は、人類が長い間記憶して後世に伝える価値があるとされる記録物を世界記憶遺産として2年おきに登録し、毀損され消滅しないようにその記録物を保存してきました。今年、日本国内でこの世界記憶遺産に登録しようとして2つ候補を決めたそうです。その1つが、「命のビザ」です。ビザは、ある国（住んでいる国以外）に在留するための資格で、ビザがなければ不法滞在となり処罰されたり、強制的に本国に送り返されたりします。

では、「命のビザ」とはどのような記録物なのでしょうか。それは、1940年7月、リトアニア（バルト海に面した小さな国）日本総領事代理 杉原千畝（すぎはらちうね 1900~1986）氏が、ナチス等の迫害を逃れたい数千人のユダヤ人にシベリア鉄道を通りアメリカに行くための日本通過ビザを発給したことでした。当時の日本政府は、ユダヤ人に日本通過ビザを発給しないように命じましたが、杉原氏は人道的判断からユダヤ人の命を救うためにビザの発給を決意しました。約1ヶ月間、杉原氏は寝る間を惜しみユダヤ人にビザを発給し続けました。その数は、数千人にのぼると言われています。その結果、多くのユダヤ人がアメリカに渡り、命を救われました。その後、アメリカに渡ったユダヤ人の中には、アメリカの政治経済を支える人々が多く輩出しました。

この杉原氏の勇気ある行為に対してイスラエル政府は、1985年に「ヤド・パシエム賞（諸国民の中の正義の人賞）」を授与し、榮譽を称えました。現在、杉原氏を「日本のシンドラ」と言う人もいます。

今回の世界記憶遺産の登録は、外務省に保存されている2139人分の査証発給リストや外務省とのやり取りを示す公電、出身地（岐阜県八百津町）が所有する自筆のビザの記載があるパスポートのほか、NPO 法人「杉原千畝命のビザ」が所有する自筆の手記などが対象となっています。「命のビザ」が、世界記憶遺産に登録されると嬉しいと思いますが、今でも他国から尊敬されている杉原千畝氏のような外交官が我が国にいらしたことを改めて誇りに思います。

10月の主な予定



2日(金)	生徒会役員選挙
5日(月)	全校朝礼
8日(木)	連合音楽会
9日(金)	英語検定16:00
10日(土)	土曜日授業 学校公開日 防災学習(1年)
11日(日)	光が丘地区祭
13日(火)	合唱練習(始)
16日(金)	1学期終業式 数学検定15:50~
19日(月)	2学期始業式
30日(金)	文化発表会 合唱コンクール

光一中生の活躍	
ソフトテニス部 新人戦	5位入賞
	都大会出場
練馬区陸上競技大会	
第1位	2年 柴崎 裕亮 君
	(2年男子 1500m)
おめでとうございます	

9月の行事から



道徳授業地区公開講座 9月12日(土)

今年度も9月の土曜授業公開日に合わせて道徳授業地区公開講座を開きました。本校の教育目標である「心豊かとともに助け合う人」を目指して指導をしております。今後もさまざまな方からご意見をいただき、心豊かな子の育成を目指していきます。



練馬区防災フェスタ 9月13日(日)

練馬区の防災フェスタが9月13日(日)本校と学習支援センターで行われました。当日は避難拠点運営委員の皆様、PTAの皆様に参加しました。一般来場者2000名以上、スタッフなど合わせると約2300名以上の参加だそうです。多くの方に災害について考えたり、避難を体験する機会になりました。炊き出しでは前日の準備から当日の配食まで休みなく動いていただきました。ありがとうございました。



小学生部活動体験 9月18日(金)

小学生の部活動体験は、光が丘四季の香小学校と本校で小中一貫教育研究の体験学習部が中心となって進めています。部活動の中から当日が活動日である部を調整して行いました。少し緊張しながら中学生といっしょに真剣に活動できました。中学校の生活へのスムーズな移行ができるように今後も研究と実践をすすめていきます。



お願い

春の健康診断が終わり、虫歯の治療をお願いしているところです。歯は一生使うものですし、もう生え替わることもありません。現在、受診率は35%です。早めの治療をお願いします。

